

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：食品安全課  
担当名：総務・安全推進担当  
内線：3422

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業			
P6	食の安全・安心推進事業				一般会計	衛生費	環境衛生費	食品衛生指導費	食品安全特別対策費			
事業期間	昭和22年度～	根拠法令	食品安全基本法、食品衛生法、食品表示法、埼玉県食の安全・安心条例				針路分野施策	020204	県民の暮らしの安心確保食の安全・安心の確保		SDGsゴール2, 3SDGsターゲット2-1	
1 事業概要 生産から消費にわたる食の安全・安心確保のため、食品等事業者及び消費者によるリスクコミュニケーションの充実を図る。  県民参画とリスクコミュニケーションの充実 1,526千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア こども食堂等の調理担当者に対する情報や学習機会の提供 イ 食の安全推進委員会・食の安全地域推進会議の運営 ウ リスクコミュニケーター研修の開催 エ 県民への食の安全・安心に関する普及啓発  (2) 事業計画 ア こども食堂等の調理担当者に対する情報や学習機会の提供 食品衛生に関する学習機会を提供するため、県広報媒体による情報発信や各種講座への講師派遣を行う。 イ 食の安全推進委員会・食の安全地域推進会議の運営 県・食品等事業者・県民等の意見交換を通じた相互理解や信頼の醸成(リスクコミュニケーション)を進めるため、食の安全推進委員会を開催するほか、地域ごとにタウンミーティング等を開催する。 ウ リスクコミュニケーター研修の開催 学校や保育所の調理員等、食品衛生に関する必要な知識を持ち、県民と相互のやり取りができる人材(リスクコミュニケーター)を育成するための研修を開催する。 エ 県民への食の安全・安心に関する普及啓発 県民へ食の安全・安心に関する情報の普及啓発を行うため、啓発素材による情報発信や講習会を行う。  (3) 事業効果 食の安全に関する知識を習得・活用できる県民やこども食堂等が増加し、食中毒事故を予防できる。 県・食品等事業者・県民等が集う場が確保され、県民参画により県の施策が推進されるとともに、リスクコミュニケーションの機会が県民の身近な場所に存在する環境が作られ、食の安全・安心が確保される。 【活動指標(アウトプット)】 リスクコミュニケーター研修会2回、食の安全基礎講習会随時実施 【成果指標(アウトカム)】 リスクコミュニケーションを行った施設の割合 80%以上、講習会を受講したこども食堂 150施設  (4) 県民、民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 食の安全推進委員会において、食品等事業者、消費者等との連携を図る。									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比		
決定額	1,526								1,526	0		
前年額	1,526								1,526			

## 事業内訳書

事業名	食の安全・安心推進事業		
単位事業名	県民参画とリスクコミュニケーションの充実	予算額	1,526千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,526	0	
合計	1,526	0	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	877	0	委員謝金 5回分 講師謝金 10回分
旅費	93	△4	各種講座 35回分 会議等打ち合わせ 5回分 研修会 2回分
需用費	224	△73	食糧費 消耗品費 資料等印刷代
役務費	187	90	資料等送料 通信費 手数料

単位事業名	県民参画とリスクコミュニケーションの充実	予算額	1,526千円
-------	----------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	145	△13	会場使用料 7回分
合計	1,526	0	